使用者の声

「殺線虫剤 ネマトリンエース粒剤」の使用感について、インタビュー!
生産者様の声を紹介いたします。

殺線虫剤
石原 ネマトリン®エース 粒剤

®は登録商標

【きゅうり】宮崎県 斎藤さん

線虫被害を受けやすい砂質土壌でも20年間、安定した効果を発揮。実績があるから欠かさず使い続ける。



前作のゴーヤで土壌に増えた線虫から、定植前のきゅうりをしっかり守る。

宮崎県佐土原町で、きゅうりとゴーヤを32aのハウスで輪作している斎藤さん。「両親が農業をしていて子どもの頃から農業は身近にあったので、跡を継ぎたいとは自然と思っていました。就農してから20年が経ちますが、近道はない、というのが感想です。新しい技術は毎年のように生まれますが、結局は小さな努力をコツコツ積み重ねていくことが大事だと考えています」。そんな意識があるからこそ、土壌や作物にも細かく目を配っています。「このあたりの土壌は砂質で乾きやすいので、こまめな灌水を心掛けています。そのため、作物の根に寄生してコブをつくる線虫には気を付けないといけません。被害に遭ってしまうと水切れが起こりやすくなり、株がすぐに萎れてしまいます」。

ゴーヤと輪作するなかで、きゅうりの線虫防除として定植前に使用しているのが、ネマトリンエース粒剤です。「2月頭にゴーヤを定植して5ヶ月ほど栽培していくのですが、その間にだんだん線虫の被害が増えてきます。そのため、ゴーヤの栽培が終わるタイミングで一度、土壌をリセットするために土壌くん蒸剤を使って土壌消毒を行います。そして、9月上旬にきゅうりを定植する前に、ネマトリンエース粒剤を全面土壌混和してしっかり線虫を抑えるようにしています」。



20年間欠かさず使い続け、被害はほぼなし。ネマトリンエース粒剤で次世代へバトンを繋ぐ。

「きゅうりでは線虫の被害がほとんどありません。“長期間効果が持続する”との言葉通り、長く安心できるので信頼してネマトリンエース粒剤を使っています」。周りにも愛用者は多いそうで、「近所でもほとんどの生産者がネマトリンエース粒剤を使っていると思います。長年使っている方が多く、私も就農してから20年間欠かさず使っています」と教えてくれました。

現在3代目として農業を担っている斎藤さんには、13歳と10歳の息子さんがいます。今後の目標は、「息子が将来一緒に農業をやりたいと言ってくれているので、4代目までしっかりとバトンを渡せるように経営していきたいです」とのこと。ネマトリンエース粒剤についても、「長年使用してきてきちんと良い実績を残してくれているので、これからも使っていきたいです」と嬉しいお言葉をいただきました。ネマトリンエース粒剤が線虫被害を抑えることで、斎藤さんの安定経営に末永くお役に立てることを願っています。

※取材時(2025年8月)における個人の感想をもとに作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

ISK Local Insight, Global Impact

石原バイオサイエンス株式会社
〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号

“使用者の声”はwebでもご覧いただけます